

信州日本みつばちの会

2001年に会長富永朝和（現名誉顧問）を中心に上伊那郡中川村に設立。貴重な日本在来種である日本ミツバチを、絶滅の危機より救うとともに、その生態を幅広く研究するために、様々な取り組みをしています。特に富永朝和の研究は、その飼育方法や技術では日本屈指でありマスコミにも注目されています。また会員の研究もめざましく、養蜂のための独自の器具も開発しています。

信州日本みつばちの会では、そうした成果を、秘伝に属する事までも、会員の方々には余すところ無く公開しています。

HACHILOOP（ハチループ）

2025年8月8日、中川村の若手4人が立ち上げた養蜂会社です。

私たちは、日本ミツバチのはちみつを中心に、商品開発や体験型観光を展開しながら、地域の活性化や蜜源の保全に取り組んでいきたいと考えております。

「人と自然のつながり」「地域の暮らしと経済の循環（ループ）」を大切に、持続可能な養蜂の形を模索しています。是非、信州日本みつばちの会の皆様と連携しながら、次世代へとつながる日本ミツバチの養蜂文化を育み、業界全体を盛り上げていきたいです。

3年連続で参加！

富士見高校・養蜂部

長野県富士見町の富士見高校・養蜂部は、生き物の視点を大切に持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

設立は2010年2月。その活動は本格的なものです。ミツバチの飼育のために生態を学ぶだけでなく、ほかの生き物や農業との関わりや蜜源・花粉源植物の増殖、巣箱や養蜂道具の工夫、子どもたちにミツバチをより身近に感じてもらうために劇や絵本を創作したり、と多岐にわたります。

NHK「ダーウィンが来た！」への出演、「みつばち高校生—富士見高校養蜂部物語」としての書籍化など話題いっぱいの部です。

タイムスケジュール



- 10:00 開場
- 10:15 開会式
- 10:30 ★富士見高校・養蜂部「はちさん紙芝居」
部員のみなさんが、みつばちの生態と魅力をわかりやすく紙芝居でみせてくれます。
- 11:00 ★蜂移しの実演講習
蜜の溜まった巣箱から新しい空箱に蜂を移す実演を行います。終了後には採蜜したはちみつを巣ごと試食いただけます。
- 12:00 ★講義「富永顧問による子出し対策」
★はちみつ（巣ごと）の試食会
- 12:30 ★情報交換タイム
初心者の方（これから養蜂を始めたい方）、経験者の方のブースを設けます。会の担当者が進行役となります。養蜂について情報交換をしましょう。
- 13:30 閉会式

その他の催し

- ★信州日本みつばちの会
 - ①富永朝和名誉顧問になんでも質問コーナー
 - ②養蜂グッズ販売ブース
- ★HACHILOOP
 - ①はちみつコンテスト
 - ②Tシャツなどのグッズ販売
- ★富士見高校・養蜂部
 - ①オリジナルグッズ販売
 - ②ワークショップ（ミツロウハンドクリーム手作り）
- ★個人出店ブース（会員限定）
*ご要望にお応えしてのカムバック企画です。
- ★中川村特産物販売（旬の果物・菓子などが並びます）
- ★飲食ブース

蜂移しの実演講習



養蜂グッズ販売ブース



富士見高校ワークショップ



お問合せは
こちらまで

信州日本みつばちの会事務局

電話：0265-88-3220 Email：mitubati@ina.janis.or.jp

※お電話でのお問い合わせは平日9:00～12:00のみの受付となります。